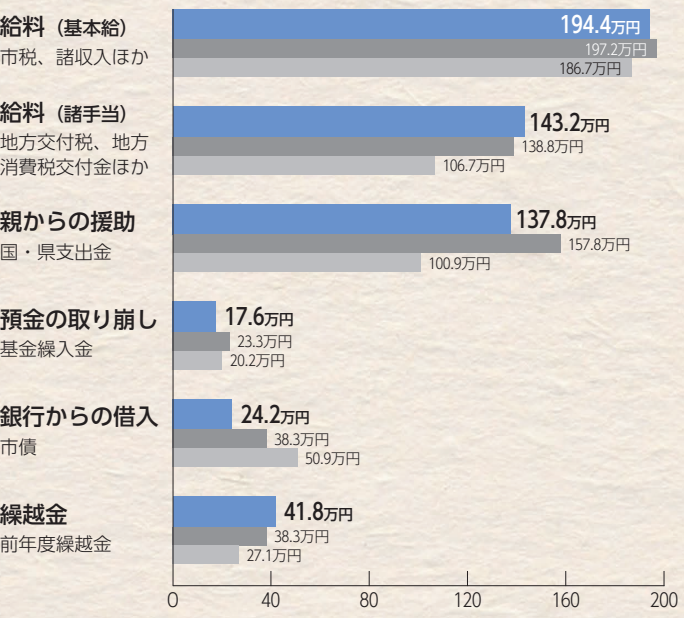


西条さん家の家計簿

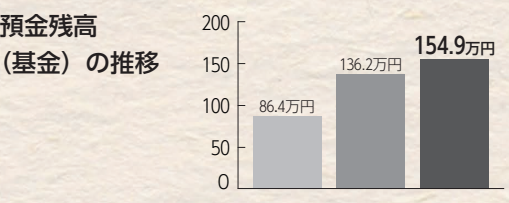
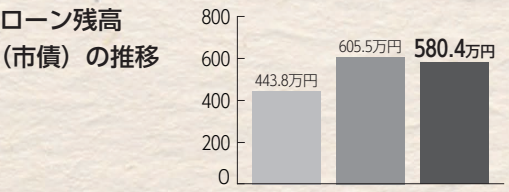
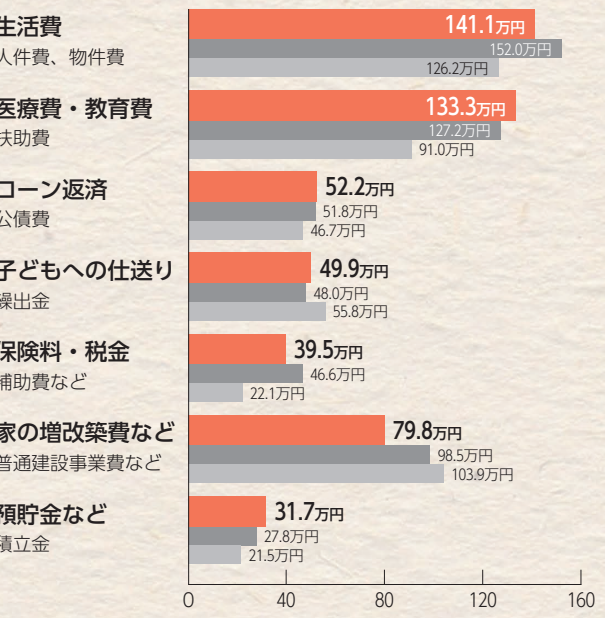
令和5年度の決算と市債・基金残高の一般会計分を1万分の1にして家計簿に例え、昨年度・10年前（平成25年度）と比較してみました。



収入 R5 559万円
R4...593.7万円 H25...492.5万円



支出 R5 527.5万円
R4...551.9万円 H25...467.2万円



※収入合計559万円から支出合計527.5万円を差し引いた金額31.5万円は翌年度の家計に持ち越します

令和4年度との比較で家計簿を読み解く

収入は、給料（市税、地方交付税など）が増えましたが、親からの援助（国庫支出金）や銀行などからの借り入れ（市債）などが減ったことから、約34.7万円減少しました。支出は、医療費・教育費（扶助費）や子どもへの仕送り（繰出金）が増えましたが、大型事業である「道前クリーンセンター整備事業」の減少などにより、家の増改築費など（普通建設事業費など）が減ったことから、約24.4万円減少しました。

令和4年度と比較すると、預金残高（基金）は増え、ローン残高（市債）は減り、家計の状況は改善しましたが、今後は物価高騰などによる生活費（物件費）や医療費・教育費（扶助費）、過去に借り入れたローンの返済（公債費）の増加が見込まれることから、健全な家計の維持のために、収入に見合った支出の計画を立てる必要があります。

市民1人当たりのお金の使われ方

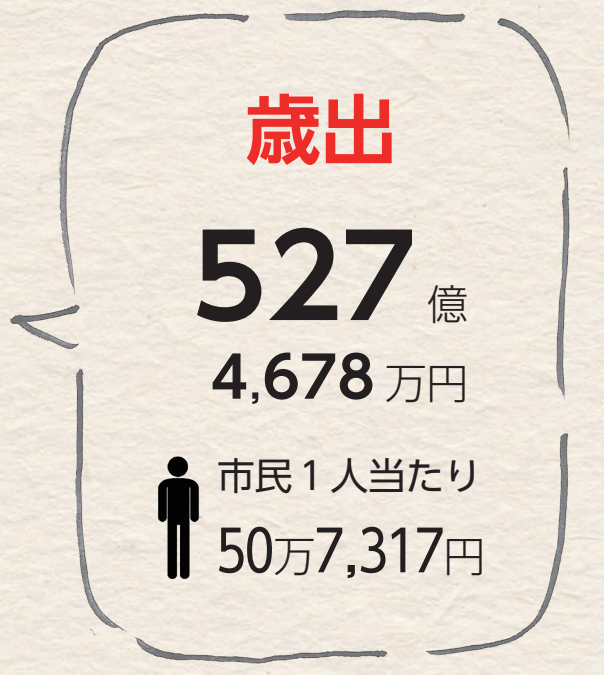
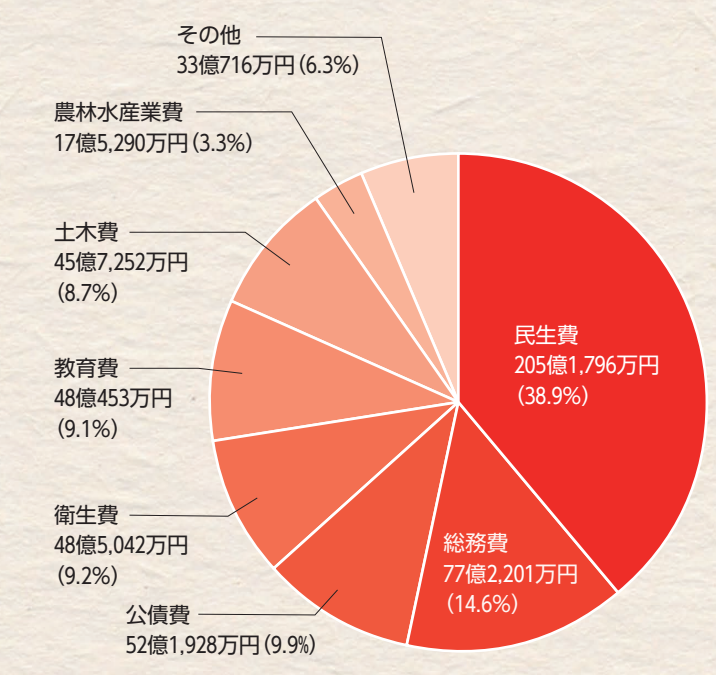
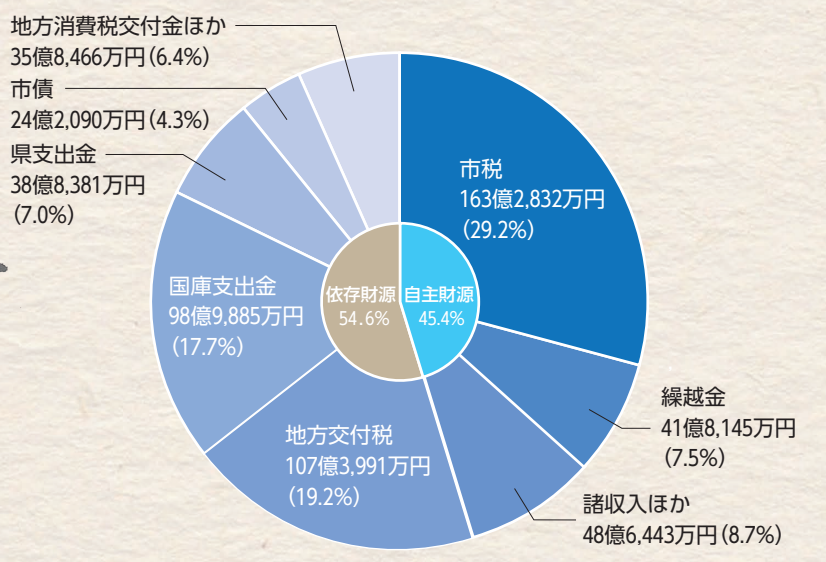
住民基本台帳登録数 103,972 人
(令和6年3月31日現在)



令和5年度 西条市の

決算

令和5年度の決算がまとまりました。
昨年度の決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのかお伝えします。
問合せ 市庁舎本館3階 財政課 Tel.0897-52-1272



特別会計、企業会計、市の財産・借金などの詳細

●特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	120億3,304万円	119億 626万円	1億2,678万円
介護保険	119億7,114万円	118億4,414万円	1億2,700万円
港湾上屋事業	705万円	705万円	0 円
ひうち地域振興整備事業	8,800万円	8,800万円	0 円
小松地域交流事業	1,697万円	1,697万円	0 円
本谷温泉事業	7,397万円	7,397万円	0 円
畑地かん水事業	2,081万円	786万円	1,295万円
庄内財産区	74万円	74万円	0 円
壬生川財産区	394万円	250万円	144万円
後期高齢者医療保険	17億4,877万円	17億1,033万円	3,844万円
合計	259億6,443万円	256億5,782万円	3億 661万円

●市の財産

土地	2,912万9,568㎡
建物	52万525㎡
基金	180億6,376万円
有価証券	2,424万円
出資金	2億1,962万円
債権	13億3,168万円

●市の借金（市債現在高）

一般会計	580億3,576万円
特別会計 計	1億1,903万円
合計	581億5,479万円
市民1人当たりの借金	55万9,331円

※企業会計を除く

●企業会計の決算状況

※収益（料金収入など）では経営が難しいため、一般会計から財源不足額を補てんするもの

区分	収支の種類	収入	支出	当期純利益・損失	企業債現在高	財源補てん※
水道事業会計	収益的収支	10億8,132万円	9億5,820万円	9,756万円	49億1,075万円	0 円
	資本的収支	1億6,681万円	7億3,293万円	－		
公共下水道事業会計	収益的収支	24億3,108万円	24億2,254万円	△3,298万円	173億2,507万円	10億2,524万円
	資本的収支	16億1,364万円	23億6,483万円	－		
病院事業会計	収益的収支	1億3,887万円	1億8,404万円	△4,517万円	5億8,393万円	7,986万円
	資本的収支	1億3,994万円	2億 704万円	－		

特別会計と企業会計の決算状況

特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など、特定の仕事をする場合に一般会計とは別に経理する会計のことで、全ての会計で黒字または収支が均衡となっています。

企業会計は、企業経営という観点から独立して経理をする会計のことで、このうち公共下水道事業会計と

病院事業会計（病院が医療サービスから得られる収益を除く）は、料金収入などの収益だけでは経営が難しいため、一般会計から財源不足額を補てんしている状況です。一般会計からの支援に依存しない独立採算に向け、収入の増加や支出の見直しが必要となっています。

令和5年度と令和4年度を比較すると、歳入・歳出ともに決算額が減少する結果となりました。

歳出では、令和5年度も原油価格・物価高騰などへの対応を実施してきましたが、大型事業である道前クリーンセンターの整備や新型コロナウイルスワクチン接種などの事業費が減少し、歳入においても、これらの事業財源として活用していた市債や国庫支出金が減少したことなどによるものです。

今後も、物価高騰などへの対応、増加が見込まれる社会保障経費や公債費、大型施設の更新・整備に備えつつ、受益者負担の適正化を図るとともに、高いコスト意識や創意工夫を凝らした事業を実施するなど、将来世代に過度な負担が残らないように、歳入水準に見合った「歳出改革」を継続し、持続可能な財政基盤の確立を目指します。

持続可能な財政
基盤の確立へ

令和5年度に実施した主な事業

※新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰などへ対応した事業

総務費



窓口手続きの負担を軽減

○家庭用燃料購入支援事業※

1世帯当たり5,000円相当の燃料カードを配布

9,525万円

○窓口改革推進事業

おくやみ窓口を設置し手続きのワンストップ化を推進

1,287万円

民生費



妊娠・出産、子育てを支援

○住民税非課税世帯臨時特別給付金支給事業※

住民税非課税世帯に対して、臨時特別給付金を支給

14億7,013万円

○えひめ人口減少対策総合交付金事業

500万円

衛生費



改修中のやすらぎ苑

○やすらぎ苑整備事業

施設の延命化や利便性の向上を図るための改修

1億1,679万円

○省エネ家電製品購入促進事業※

省エネ性能に優れた家電の購入を支援

2,151万円

商工費



新たなまちの魅力を発見

○地域観光・滞在コンテンツ創出事業

いしづちエリアにおける独自の滞在コンテンツを創出

1,878万円

○サステナブルツーリズム推進事業

滞在先の環境に配慮した観光ツアーを実施

100万円

土木費



一部区間が開通した楠浜北条線

○楠浜北条線道路改良事業

徳能伊予三芳停車場線～木舟久ヶ坪線の区間が開通

2億4,275万円

○中心市街地浸水対策事業

朝日市地区の排水施設の整備

1,103万円

教育費



改修が完了した大町小学校

○小学校施設長寿命化事業

施設の長寿命化を図るための改修

9億6,284万円

○学校給食物価高騰対策補助金※

学校給食費の増額改定に対する保護者負担の軽減

2,861万円